



志免町議会での研修

日程 7月1・2日

研修先(人口) 福岡県志免町(4万2000人)

0人、八女市(4万3000人)

議会定数 各16人。

志免町議会 一般質問の時間90分、うち質問時間は30分。質問回数制限なし。ホームページを14年から開始。今年から議会映像のDVDの貸し出しを開始した。

八女市議会 一般質問の時間70分、質問回数制限なし。土・日曜議会を開催。議会開催PRとして防災無線、ホームページ、公共掲示板に掲示している。

政府に意見書を出しました

郵政民営化法の見直しに関する意見書

たばこ増税反対に関する意見書

郵政民営化法では、

「郵便局は郵便事業を必ず営むもの」として明記しているが、貯金、保険に関しては、「営むことができる」として、必ず営むものとはしていない。今後、郵便局にユニバーサルサービスを提供し続けるよう、民営化法の見直しを要望する。

たばこ税は国・地方を

合わせて60%を超え、国内の租税物品の中でも最高の税率であり、すでに限界に達している。ついでは、地域農業における葉たばこ生産の現状をご理解いただき、地域の葉たばこ生産を守るため、増税が行われないよう要請する。

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書

近年、森林経営は脆弱

化し、その担い手である山村は崩壊の危機にある。特に、国有林野事業等において、国民の暮らしを守るために、重要な役割を果たす水源林等公益森林の整備、更には、地域林業・木材産業の振興を通じて山村の活性化に十全に寄与できるよう要請する。

賛成だ！

討論

反対だ！

反対 荒木俊彦議員
大津町は面積が広く、人口も増えているとき、これ以上減らす必要はない。定数を減らせば周辺地域の声が届かなくなる。議員2人分800万円を節約して少数での地方分権でいいのか？なるべく多数の意見を戦わせてより民主的な議会を目指すべきと考える。

反対 鈴木ムツヨ議員
地元の皆さんの意見を聞きながら議員活動をしている。議会の委員会が5人になると2対2で紛糾することもあり、18人が適切である。人口も3万人を超すなか、議員活動は議会の中だけではない。地域活動の中で町民の意見を多く聞くことが大切である。

反対 永田和彦議員
地方自治法は26名以内、多すぎても少なすぎてもいけない数字だ。定数削減する前に議会改革をすべきでリアルタイムに町民に見ていただき議員の資質が上がれば定数削減は可能であらう。提出の理由も無責任で低レベルな発言だ。これが今議会の現状で反対だ。

議員定数を2減らす発議賛成多数で可決

○提出者 坂本典光議員、賛成者8人の連名で「議員定数を2減」する発議を賛成11人、反対4人で可決した。発議の趣旨「行政改革を積極的に進めるため自ら手本を示すべき」

賛成 大田黒英生 議員
福岡県の志免町は4万2000人、八女市が4万3000人の町と市だが議員定数は16名である。

賛成 松永幸久議員
4年前20の議席を18に減らしたとき私が提案者だった。現在欠員があり16議席だが委員会構成もなんら不都合はない。区長さんをお願いする仕事と、議員がなすべき仕事をきっちり住み分けをし町民の多くの意見を町政に反映させるのが我々の努めである。

賛成 長谷部健一郎 議員
現在、定数18名だが実際は16名で議会運営を行っている。2名減はそれほど町民に迷惑をかけるとは思わない。町政を考えてみれば税収から成り立っている。財源をどこに使うかということである。